

前回協議会における意見と対応

No	委員	委員からの意見	分類	事務局の対応案
1	南條委員	交通空白地域の図は計画本編に記載されていないのか。	その他	現時点では記載されておらず、交通空白地域の図を提示しなければ市民にも理解されないため追記する。
2	南條委員	資料2のp.48では、現状ではフィーダー交通の運行本数が少なく、将来は運行本数が増加することを図で示唆している。しかし、前回協議会における指摘と対応案では、フィーダー交通の運行本数を減らす方針と記載されており、図と矛盾している。	幹線・支線	・フィーダー交通のバス路線全てにおいて同様の対応を行うのではなく、地域の実情に沿って運行本数を検討することを考えている。 ・計画本編の記載表現は、上記の考え方に基づき、修正する。
3	小川委員	柏市には手賀沼等の観光資源もあるため、課題及び計画の方向性には、観光の視点を加えた方が良い。日常的な施策の実施が難しければ、イベントに合わせて施策を検討しても良い。	幹線・支線	来訪者の視点で課題や施策を盛り込めるか、検討する。
4	小川委員	短期施策E(資料2・p.56)について、高齢者の地域包括支援センターが開設されている商業施設にもアクセスできれば、路線の利用者が増えるのではないか。	日常生活	・現時点では公共交通のルート上にスーパーやコンビニなどの買物施設が立地しており、高齢者が買物の際に公共交通を利用できるようルートを設定している。 ・今後実証運行を行う中で、ルート設定の見極めを行う。 ・ルート設定の考え方等の説明を含めて、計画本編の記載内容を修正する。
5	南條委員	資料2のp.51に記載のある実施施策の位置図は、短期と中長期で分けるか、説明が記載された方がよい。また、矢印が多いため、見せ方を工夫した方がよい。	その他	・短期施策と中長期施策の説明を記載する。 ・矢印は分かりやすく整理する。
6	宮部委員	中長期施策f(資料2・p.64)について、中長期施策としては中央地域以外での導入を検討という構成になっているが、短期施策E(資料2・p.56)で良い結果が見られた場合、他の地域での導入検討を前倒しで進める等、柔軟な対応をした方がよい。	日常生活	・モデル地区で良い結果が見られれば、短期の期間中に実施する可能性も考えられる。 ・ただし、モデル地区での効果を他の地域でどのように展開できるかも含めて検討したいため、現時点では中長期施策として設定している。
7	斎藤委員	資料2のp.76に関して、鉄道の乗車人数を維持するという目標を設定するのであれば、鉄道の運行本数を減らさないための施策も必要ではないか。	交通モード間	運行本数については鉄道事業者との調整が必要であるため、今後の検討事項とする。
8	重久様 (中嶋委員代理)	資料2のp.75に記載のあるバスマップ配布について、どのように配布する予定か。	利用促進	・新たにアリオ柏や柏駅前のインフォメーションセンター、自動車教習所での配布を検討している。 ・また、中長期施策としては免許を返納する方に渡すことも考えている。 ・周知方法も含めて、計画本編の記載内容や表現を見直していく。